

ということが確認されるわけですからあれですけども、例えば、今までの短期証のような対応の方、そういうものはなくて、滞納してる方は10割と、窓口10割負担と1つだけになってしまうんでしょうか、お聞きいたします。

○竹田陽一委員長 逸見睦子市民課長。

○逸見睦子市民課長 先ほど申し上げましたように、その短期被保険者証の仕組みがなくなりますので、今まで短期証だった方につきましても、未納が一定期間続いた場合は、今の制度でいう資格確認書、今度でいうと特別療養費の支給の対象にはなってくるとは思いますが、早期の納入をお願いしていくというような形になると思います。

○竹田陽一委員長 15番、今泉春江委員。

○15番 今泉春江委員 12月2日からですけども、1年間、保険証を持ってる方はマイナ保険証でなくても使えるということでありましてけども、混乱というものがね、市民に理解していただけるかどうか、システムが変わったということだね、しっかりとそこは市民課としても周知していただくと。そういう意味でも相談収納をしていただければ、相談収納の部分には税務課ではありますが、相談収納にすることによって資格証や、今まででは短期証ですけども、このたびの資格確認書の発行などのその特別療養費の確認というような保険証、保険証と申しあげたらいいのかカードと申しあげたらいいのか、そういうものが発行されないわけですから、大事なことは、相談収納に努めるということが、こういうものをなくす、減少させていくということで大事だと思います。ぜひ税務課さんとも連携し、その辺を努めていただきたいと思います。

最後ですけども、質問は全部終わりましたけども、市税や国民健康保険税の、先ほども申し上げましたけども、収納率が県内13市で連続1位であるということは、本当に職員の皆様の取組の前進部分であると評価するものではありません。

すが、市民に寄り添った相談収納が進んでいることにより、差押えや件数が減ったということだけでなく、納税に対する市民の意識が、私は皆さん、職員の方が今まで頑張ってくださったことに対して、納税に対する市民の意識が向上している表れではないかなと、収納率の連続1位を獲得してる、獲得というか保ってるということはそういうことではないかなと、市民の納税に対する意識の向上ではないかなと思っております。やはり、市民に寄り添った丁寧な相談収納というものが市民の納税を喚起しているものではないかなと思っております。

ですから、何度も申し上げますけども、相談収納というのは、本当に市民に寄り添った相談収納をしていくということは大事なことだと思っております。それが市民に優しい政治にもつながるのではないかなと思っております。さらなる市税や国民健康保険税の相談収納の促進を求めてまいりたいと思います。

以上で質問を終わります。よろしく願いをいたします。

○竹田陽一委員長 ここで、暫時休憩をいたします。

再開は午後3時5分といたします。

午後 2時43分 休憩

午後 3時05分 再開

○竹田陽一委員長 休憩前に復し、会議を再開します。

総括質疑が終わりましたので、これから細部審査に入ります。

なお、質疑に当たっては、答弁者並びにページ数をお示しの上、お願いいたします。

## 認第1号 令和5年度長井市歳入歳出決算認定についての質疑

○竹田陽一委員長 それでは、認第1号 令和5年度長井市歳入歳出決算認定についての一般会計の歳入から順次質疑を行います。

まず、認第1号の一般会計の歳入全部について質疑を行います。事項別明細書の41ページから84ページまでであります。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○竹田陽一委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

次に、認第1号の一般会計の歳出について質疑を行います。

まず、1款議会費、2款総務費について質疑を行います。85ページから130ページまでであります。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○竹田陽一委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

次に、3款民生費、4款衛生費について質疑を行います。131ページから181ページまでであります。ご質疑ございませんか。

6番、鈴木一則委員。

○6番 鈴木一則委員 長寿介護・地域包括センター担当課長にお伺いをいたします。

民生費、142ページの3款民生費、1項社会福祉費、3目老人福祉費の020デジタル田園都市国家構想交付金事業についてです。これは、事業名ちょっとデジ電の交付金だけだったので、ちょっと分かりづらかったんですけども、成果報告書のほうで見ましたら、事務事業的には要介護認定で事務支援システム導入事業のことだと思いますので、この件についてお伺いをします。

これは昨年の3月議会で、これは要介護認定

事務について、目視で行ってる調査票の特記事項の整合性チェックを、AIでということ導入するという、これは結構議会でもいろいろ意見が出された関係でしたが、これによって事務の効率化を図るといような内容で進められて、デジ電の交付金を充てられてモデル事業を採用するといようなことで進んできたと思えます。

この事務事業の成果の中で、AIによる調査票確認件数が1,153件となっておりますけど、これは対象者全ての調査件数なのかどうか、まず最初お伺いいたします。

○竹田陽一委員長 渡部和喜子長寿介護・地域包括支援センター担当課長。

○渡部和喜子福祉あんしん課長寿介護・地域包括支援センター担当課長 ただいまのご質問で、AIによる調査票の確認件数1,153件、こちらですけれども、令和5年度10月からこちらのシステムを運用しまして、その中で、再度確認したのも含めた全ての件数ということになります。要介護認定の全てのケースは1,326件でございますので、この1,153件につきましては、AIによる調査票の確認件数と再確認のものも含めたものということになります。

○竹田陽一委員長 6番、鈴木一則委員。

○6番 鈴木一則委員 続けてお伺いします。これで正確な資料作成が進んで、2名体制での資料作成、処理を行っていたのが、今年2月から1名体制が可能になったということで効率化が図られたということですが、実際的に心配もあるんですけども、事務事業ですと、1人の事務者の評価というよりも複数人という部分での評価というのも確認が必要だということもあると思うんですが、その点についてはどのように運用されているんでしょうか、お伺いをいたします。

○竹田陽一委員長 渡部和喜子長寿介護・地域包括支援センター担当課長。

○渡部和喜子福祉あんしん課長寿介護・地域包括支援センター担当課長 ただいま委員からありましたように、こちらの事務事業につきまして、非常に効率化が図られた部分ということで、こちらの調査票の確認の上で精度が向上したこと、あと公平性がより向上したこと、従事する職員が2名体制から1名になったこととあります。

こちらのA Iの精度につきましては、運用をするに従いましてA Iの学習能力のほうが上がってきて、精度もますます向上していくというところがございますので、再確認の件数のほうもこれから減少していくと見込んでおります。

○竹田陽一委員長 6番、鈴木一則委員。

○6番 鈴木一則委員 最後の質問になりますけれども、導入したシステムの、この中で運用の精度を高めていくということの表現がございますけれども、これに伴って最終的にどのような形というか、目標とされる形というのはどういうふうに担当課としては考えてらっしゃるか、最後にお伺いいたします。

○竹田陽一委員長 渡部和喜子長寿介護・地域包括支援センター担当課長。

○渡部和喜子福祉あんしん課長寿介護・地域包括支援センター担当課長 最終的な目標ということがございますけれども、やはり、この介護保険制度の基本となりますこの認定審査会の資料、こちらの精度が上がり公平性が向上されること、そして、こちらの事業、事務事業の効率化が図られることで、最終的には認定にかかる期間を短縮して、市民の方の利便性につながるということを目標にしております。

○竹田陽一委員長 ほかにご質問ございませんか。  
(「なし」と呼ぶ者あり)

○竹田陽一委員長 ほかに質疑もないので、質疑を終結いたします。

次に、5款労働費、6款農林水産業費について質疑を行います。181ページから199ページまでであります。ご質問ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○竹田陽一委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

次に、7款商工費、8款土木費について質疑を行います。199ページから229ページまでであります。ご質問ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○竹田陽一委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

次に、9款消防費から13款予備費までの質疑を行います。230ページから276ページまでであります。ご質問ございませんか。

13番、平 進介委員。

○13番 平 進介委員 276ページ、最後のページになりますが、財政課長にお聞きをいたします。ここで、この項は予備費なわけですが、予備費支出及び流用増減で914万3,707円、これを流用しているわけでありますが、まず、この流用した内容についてお聞きをいたします。

○竹田陽一委員長 鈴木和夫財政課長。

○鈴木和夫財政課長 予備費の執行につきましては、緊急性も勘案して、その都度上司にも相談しながら執行しておりますが、緊急性の高いところでは、施設の修繕でありますとか、また、市民等の要望による支障木の伐採等がございます。

そのほか金額の大きいものでは、昨年ですと、異例なケースだったんですが、旧調理場の解体に係る測量調査業務委託料、またアスベスト調査業務委託料等々がございます。

○竹田陽一委員長 13番、平 進介委員。

○13番 平 進介委員 もう少し詳しく答弁していただきたかったわけですが、結構な金額になっているわけです。

私、監査意見書のほうからちょっと見てみると、今あった旧学校給食調理場の測量調査及びアスベスト含有調査委託料で300万円ほど、あと長井マラソン大会の警備等事業費256万円ほ

ど、それから米沢養護学校西置賜校の体育館建設に伴う地中埋設物処理手数料60万円ぐらいと、そういったところが記載されているわけですが、こうした内容について、補正予算として議会に提案できなかつたのかということでもあります。緊急性を要するというようなことで今、財政課長からあつたわけですが、このところについて、補正予算にできなかつたということで、なぜできなかつたか、財政課長として把握している範囲で教えていただきたいと思います。

○竹田陽一委員長 鈴木和夫財政課長。

○鈴木和夫財政課長 例えば、旧調理場の関係で申し上げますと、こちらは財政課で所管していますので、旧調理場を令和5年度末で解体して更地にするという計画で進んでおりまして、それが前提にありましたので、アスベスト調査でありますとか測量調査を至急実施しないと間に合わないということがございました。

この旧調理場の案件につきましては、財源の関係もありましたので、要は起債の関係もありましたので、6月定例会で予備費の充用はしておりますが、補正予算として提案をさせていただいて、説明をさせていただいたところでございます。

先ほど委員からございましたほかの案件につきましては、ちょっと私、詳細まで今、記憶ございませんで、ただ、その都度、緊急性が高いということで判断がなされたと思っております。財務規則上、予備費の充用につきましては、市長の決裁となっておりますので、決裁の過程でも上司のチェックが入りますので、その過程で予備費での執行という判断になったんだと考えております。

○竹田陽一委員長 13番、平 進介委員。

○13番 平 進介委員 補正予算の中で予備費から出すという説明もしたというところだったんですか、今の答弁ね。

基本的に、補正予算に計上しながら議会に提

案してということだと思つていますが、この財政を担当する課長としての見解について、最後にお聞きをしたいと思います。

○竹田陽一委員長 鈴木和夫財政課長。

○鈴木和夫財政課長 予備費につきましては、基本的には市長の執行権の範疇だと理解しております、やはり、緊急性が高いものについては、その都度、執行側の判断で支出ができると認識しております。

○竹田陽一委員長 ほかにご質疑ございませんか。  
(「なし」と呼ぶ者あり)

○竹田陽一委員長 ほかに質疑もないので、質疑を終結します。

次に、認第1号の国民健康保険特別会計歳入歳出決算について質疑を行います。277ページから294ページまでであります。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○竹田陽一委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

次に、認第1号の山形鉄道運営助成事業特別会計歳入歳出決算について質疑を行います。295ページから297ページまでであります。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○竹田陽一委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

次に、認第1号の訪問看護事業特別会計歳入歳出決算について質疑を行います。299ページから302ページまでであります。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○竹田陽一委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

次に、認第1号の介護保険特別会計歳入歳出決算について質疑を行います。303ページから324ページまでであります。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○竹田陽一委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

次に、認第1号の後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算について質疑を行います。325ページから330ページまでであります。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○竹田陽一委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

次に、認第1号の宅地開発事業特別会計歳入歳出決算について質疑を行います。331ページから334ページまでであります。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○竹田陽一委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

以上で、認第1号の質疑を終結いたします。

### 認第2号 令和5年度長井市水道事業会計決算認定についての質疑

○竹田陽一委員長 次に、認第2号 令和5年度長井市水道事業会計決算認定についての1件について質疑を行います。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○竹田陽一委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

以上で、認第2号の質疑を終結いたします。

### 認第3号 令和5年度長井市下水道事業会計決算認定についての質疑

○竹田陽一委員長 次に、認第3号 令和5年度

長井市下水道事業会計決算認定についての1件について質疑を行います。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○竹田陽一委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

### 議案第47号 令和5年度長井市水道事業会計未処分利益剰余金の処分についての質疑

○竹田陽一委員長 次に、議案第47号 令和5年度長井市水道事業会計未処分利益剰余金の処分についての1件について質疑を行います。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○竹田陽一委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

### 議案第48号 令和5年度長井市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分についての質疑

○竹田陽一委員長 次に、議案第48号 令和5年度長井市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分についての1件について質疑を行います。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○竹田陽一委員長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

### 令和5年度各会計決算認定についての表決

議案第47号について、原案のとおり決するに賛成の委員の起立を求めます。

(起立全員)

○竹田陽一委員長 これから討論、表決であります。ご意見のある方は本会議においてご発言いただくこととし、この際、討論を省略し、直ちに採決いたします。

まず、認第1号 令和5年度長井市歳入歳出決算認定についての1件について採決いたします。

認第1号について、認定することに賛成の委員の起立を求めます。

(起立多数)

○竹田陽一委員長 起立全員であります。

(「違う」の声あり)

○竹田陽一委員長 失礼しました。

起立多数であります。よって、認第1号は、認定すべきものと決定いたしました。

次に、認第2号 令和5年度長井市水道事業会計決算認定についての1件について採決いたします。

認第2号について、認定することに賛成の委員の起立を求めます。

(起立全員)

○竹田陽一委員長 起立全員であります。よって、認第2号は、認定すべきものと決定いたしました。

次に、認第3号 令和5年度長井市下水道事業会計決算認定についての1件について採決いたします。

認第3号について、認定することに賛成の委員の起立を求めます。

(起立全員)

○竹田陽一委員長 起立全員であります。よって、認第3号は、認定すべきものと決定いたしました。

次に、議案第47号 令和5年度長井市水道事業会計未処分利益剰余金の処分についての1件について採決いたします。

○竹田陽一委員長 起立全員であります。よって、議案第47号は、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、議案第48号 令和5年度長井市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分についての1件について採決いたします。

議案第48号について、原案のとおり決するに賛成の委員の起立を求めます。

(起立全員)

○竹田陽一委員長 起立全員であります。よって、議案第48号は、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上で、決算特別委員会に付託になりました案件の審査は全部終了いたしました。

最後にお諮りいたします。本委員会において議決されました議案の中で、条項、字句、数字、その他整理を要するものについては、会議規則第102条の規定により、その整理を委員長に一任願いたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○竹田陽一委員長 異議なしと認めます。よって、整理を要するものについては、その整理を委員長に一任することに決定いたしました。

閉 会

○竹田陽一委員長 決算特別委員会は、これをもって閉会いたします。ご協力ありがとうございました。

午後 3時27分 閉会

会議録署名

委員長 竹田 陽一